

企業実習付き訓練コース実習事例

機械設計エンジニア科

企業実習事例

CASE1

●企業実習先(所在地:山梨県甲州市塩山三日市場1900-1)

株式会社東亜利根ボーリング 塩山工場

●業務内容

ボーリング用機械製造販売
特殊土木建設用機械製造販売
土木工事、環境事業



「機械設計エンジニア科」の企業実習では、機械設計分野、機械加工分野、機械保全分野を主たる事業とする企業から実習先を選択していただき、企業実習に入るケースが多くなっていますが、今回のケースは、機械設計、機械組立、機械加工と職種が多様な企業での実習ケースについて、企業実習先、企業実習生の声をお聞きました。

東京六本木に本社がある「株式会社東亜利根ボーリング塩山工場」は、世界でも数少ないボーリングマシン・掘削機を製造する個性的な企業です。製造拠点は、山梨県のみであり塩山工場は重要な役割を担っており、そこで働く社員の方々は、ほぼ山梨県出身者です。今回、「機械設計エンジニア科」の企業実習先選定時に、当社が求人を出されていたことから、訓練生が実習を希望し、タイミングよく受け入れをしていただきました事例を紹介します。

【企業実習先の声】

今回、ポリテクセンター山梨の訓練コースにおける企業実習を受け入れた経緯についてお聞きました。「当社では、この地域の労働市場から人材確保を行っています。益々採用しにくい環境になってきていて、そんな時、ポリテクセンター山梨から、企業実習の受け入れについて打診を受けました。当社に、ポリテクの訓練や修了生の採用について詳しい者がいたこともあって、実習を受け入れることになりました」



管理本部 総務部 (塩山工場駐在) 係長 青木 拓さん
製造技術本部 生産管理部 部長 武井 正宏さん
製造技術本部 生産管理部 管理課外注担当 課長 日原 真一さん

実際に取り組んでみた感想としては、「実習とは言え、3週間近く一緒に仕事をすることになるので、面接だけよりも相互理解はかなり進む」と仰っていて、採用・就職の過程でミスマッチはなくなるのではないかと仰っていました。受け入れの条件としては、そのタイミングで、教育指導を担当できる者が用意できるか、求人者の必要性が高いかなどが揃うことも重要だとも仰っていました。

採用の評価ポイントは、仕事への取り組み姿勢、一生懸命さ、社員とのコミュニケーションの取り方などを見て、採用の可否を決めているそうで、今回の実習生も、様々な職種を経験してもらい、その取り組み姿勢で高い評価を受けることができ、2025年2月1日付けで採用となりました。今後も、当社に合った人材をこの地域から積極的に採用していきたいというお考えもあり、ポリテク山梨の訓練生採用も選択肢として検討していきたいとのことでした。

【企業実習生の声】 機械設計エンジニア科(令和6年7月生) 山口 巧さん

今回の実習生山口さんは、訓練前には、食品製造業の機械保全の仕事に携わっていましたが、明確な技術力と専門知識を身に付けたく、ポリテク山梨の「機械設計エンジニア科」に入所しました。当然、企業実習カリキュラムがあることは知った上で入所し、自ら「(株)東亜利根ボーリング」の求人を検索し企業実習を希望しました。訓練生の立場からは、自分を良く理解してもらう機会として、また、企業の風土をよく理解する時間として、企業実習は効果的だと思うということでした。オファーもいただき、労働条件、仕事のやりがいなどを十分理解し、入社を決断したそうです。公共職業訓練を受講しながら求職活動をすることは、訓練期間という時間の猶予を与えられて、再就職について焦らず考えられる面で、自分には非常に有効だったとの感想もいただきました。

IoT機器プロダクト科

企業実習事例

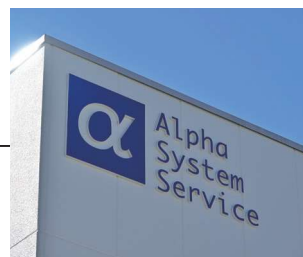
CASE2

●企業実習先(所在地:山梨県甲府市徳行 5-10-49)

アルファシステムサービス株式会社

●業務内容

パッケージソフト開発/販売
オーダーメイドソフト開発/販売



【企業実習先の声】

「企業実習を受けるのは初めてだったので、教育担当が実習計画をよく考えて進めていきました。ポリテクセンターの訓練で基礎を学んでいたことから未経験者という感じもなく、スムーズにその計画をこなしていったように思えます。実習の最後には、簡単なプログラムも自分で作ってもらい、当社の業務内容をある程度理解してもらえたかなと思います」とお聞かせくださったのは、代表取締役の三神さん。また、人材確保の面で、この企業実習を通しての採用という方法についてお尋ねしたところ、「通常の選考面接だけでなく、お互いにミスマッチは起きやすい。18日間一緒に過ごすことで、お互いに理解度は格段に上がるので、採用方法としては非常に効果的だなと思いました」とのこと。

企業実習で実習生を見るポイントはどのような点かもお聞きました。「IT業界で重要だと私が思っているのは、人から教えてもらう前に、自分で調べたり、自ら課題や問題を解決しようとする姿勢や意欲が大事だと思っていて、今回の実習でも、教育担当者は少し難しい課題を提示させてもらって、どのように対応するかを見させてもらいました」という感想をいただきました。



代表取締役 三神 洋介さん IoT機器プロダクト科(令和6年4月生) 渡邊 杏菜さん

【企業実習生の声】

ポリテクセンター山梨のIoT機器プロダクト科入所前は、保育士をされていた渡邊 杏菜さんにお話を伺いました。渡邊さんは、保育士時代に子供たちの食物アレルギーへの対応が大変だったことなどから、地域や日常生活に役立つシステムの開発に興味を持ったそうです。離職のタイミングで訓練コースを知り、IT業界を目指すことになりました。企業実習を受講しての率直な感想をお聞きました。「やはり訓練校ではわからないことがたくさんありました。実際にお客様から受注したシステムのプログラムや社員さんの日々の働き方を見て、自分がこの業界で、どのような仕事をしていくかが明確にイメージできるようになりました」とお話しいただきました。

企業実習が付いているコースの良い点についてもご説明いただきました。「企業実習では、足りないスキル分野が良く分かります。学習すべき目標が明確になりました。勉強しなければならない分野はたくさんありますけど…」実習先企業からオファーをいただいて就職を決めた理由もお聞きました。「実習して見なければわからないことですが、社内の雰囲気がよく良かったこと、実習を担当いただいた方の教え方が親切でわかりやすかったのも決め手になりました」今後、当該企業にどのように貢献していきたいのかも聞きました。「今は、これまで構築してきたシステムを理解することで精いっぱいですが、いつかは、自分が主体となって、地域や社会生活に密着した役に立つシステム開発に携わりたいと思っています」。

最後に、求職者の方々に向けて、渡邊さんからのメッセージとして、「転職時に迷っている時は、職業訓練を受講して、新たな業界にもチャレンジしてみてもいいかですか。経験のない業種で就職するには、訓練は効果的です」というお言葉をいただきました。